

柏市民活動ニュースレター

2019年10月発行 第14号

○イベントの秋！9月から11月にかけて、まちなかでは、市民活動団体の方も参加して、「食」や「アート」などをテーマにした様々なイベントが開催されています。
○本号では、市民活動サポートコーナーが最近開催した市民活動講座、市民活動交流サロンの報告に加えて、この秋に開催された（されている）市民が主役の様々なイベントや活動の様子などをご紹介します。

「食」・・・ユルベルト

柏駅周辺の飲食店を食べ・飲み歩く「食」のイベント『ユルベルト KASHIWAX』が、今年も9月8日（日）と9日（月）に開催されました。

食道楽の皆さんの中にも、ベルトを緩めて参戦された方は多いのではないのでしょうか？

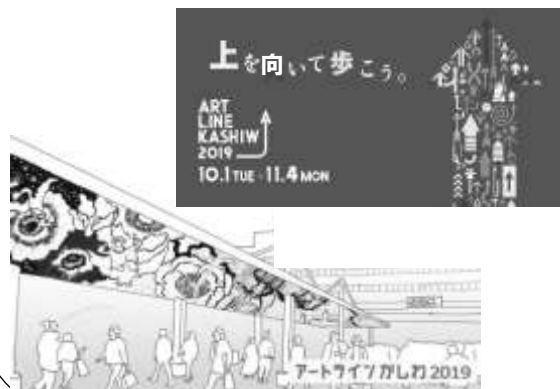


イベントの秋！

「アート」・・・アートラインかしわ

柏の秋を彩るアートイベント『アートラインかしわ』が、今年も10月1日（火）から11月4日（月祝）まで、まちなかで開催されています。

今年のテーマは「上を向いて歩こう」。柏駅東口に池平徹兵氏による巨大な天井画「地球に生まれて」が展示されています。



（編集：及川愛二）

<目次>

はじめに	・・・1 ページ
市民活動交流サロン『障がいのある子のママのための交流サロン』	・・・2 ページ
市民活動講座『市民活動に役立つ効果的な ICT の利活用』	・・・3 ページ
市民活動交流サロン『柏自主夜間中学、学ぶことから感動を！』	・・・4 ページ
活動紹介1：KIKAI が主催する『柏市 100 人カイギ』連続開催中！	・・・5 ページ
活動紹介2：「できる街プロジェクト」によるご当地アニメによる柏の魅力発信！	・・・6 ページ
報告：協働に関する意見交換会を実施しました！	・・・7 ページ
お知らせ：柏・愛らぶ基金のホームページをリニューアルしました！	・・・8 ページ

『障がいのある子のママのための交流サロン』

主催：障がい理解推進チーム Wa's

7月8日（月）の午前中、令和になって最初の市民活動交流サロンが行われました。今回のテーマは「障がいのある子のママのための交流サロン」です。当日は申込みのあったママ達をはじめ、柏市や近隣市で実際に障がい福祉に携わる相談支援専門員のみなさんなど、23名がパレット柏オープンスペースに集まりました。



テーマ提案団体・障がい理解推進チーム Wa's（代表：大隣裕子さん）は、障がい理解のための啓発・啓蒙活動を目的に、公開イベント事業や出版事業、仲間づくり事業を展開している市民公益活動団体です。障がい者が地域で幸せに暮らしていくためには？①障害について話せること、②支援の輪が広がること、③和（なご）める場所があることが大切！をコンセプトに、様々な活動を行っています。



参加者アンケート（テーマ提案団体より提供、一部抜粋）

- ★相談支援員さんと直接話しが出来てよかったです。
- ★放課後デイサービスのことを聞きたかったので、とても参考になりました。
- ★学童期や成人した後のことなどが聞けて、少しイメージがつかえました。



■交流サロンの様子・概要

第一部；「障がい福祉サービスについて」

（相談支援専門員・森山香苗さんによる講義）

障がい福祉サービス制度は障害者や難病患者を対象に行われる支援のことで、本講義では学齢期（6～18歳）に焦点を絞り、その中で「放課後デイサービス」について事例を交えて説明がありました。アドバイスとして、①福祉サービスを子どものために上手に使う、②児童期は親子関係をしっかり築く時期、③（サービスを）使いすぎ・頼りすぎないように、④お家でも楽しく穏やかに過ごせる子どもに育てましょう、というお話しでした。

第二部；参加者によるグループディスカッション（2グループで相談支援専門員を交えて相談など）

あるグループでは、障害福祉サービスを利用するために必要な計画書（障害児支援利用計画書）の作成方法や教育手帳の申請についてなど具体的な質問があり、同席した専門員の方々が丁寧に回答する様子が見受けられました。

（報告：鬼山恵子）

8/17
柏市民活動
講座

『市民活動に役立つ効果的な ICT の利活用』 講師：(一社)ICT 能力開発協会 名誉講師 青山司 氏

市民活動サポートコーナーでは団体運営に必要な ICT（情報通信技術）スキルの向上を目的に、一般社団法人 ICT 能力開発協会・名誉講師の青山 司氏を講師にお招きし、毎年同様の講座を行っています。今年度は『市民活動に役立つ 効果的な ICT の利活用』をテーマに、地域活動に活かすパソコン・スマホの新機能と気をつけなくてはならないセキュリティについて学びました。

（開催日：8月17日（土）13:30～17:30）

青山氏によると、2020 年がアナログからデジタルへの変革期だと言われています（Windows7、Office10 のサポート期限が2020 年中に終了。クラウド化によりインターネットが大きく変わる）。その変革期にこれからの ICT を有効的に活用することで、市民活動団体などの組織でも「働き方改革」が進められるとお話がありました。

自身の団体を振り返ったとき、例えば資料づくりや会員間スケジュール調整等いろいろな事務作業がひとりの人だけに偏り、負担になっていませんか？その場合、まさに組織内の働き方改革が必要な運営現状かも？かもしれません。

市民活動団体の“働き方改革”

例えば、Office365 のサービスを使うと…
ONENOTE→すべてのノートを1か所で管理可能
ONEDRIVE→クラウドに保存したデータを様々な端末から利用可能（仲間と共同編集など）
TEAMS→Web 会議やチャットが可能

本講座では Google や Microsoft Office などのクラウドサービス、Windows10、Office2019 の新機能についての紹介、セキュリティの確認など、講義と実習を含む有意義な時間となりました。講座での学びを積極的に実践していくよう、私たちも前進していきたいものです。（報告：鬼山恵子）



■講義の概要

- 1 第一部 2020 年から迎える大きな変革期をどう活用するか！
 - ・アナログからデジタルへ
 - ・インターネットもクラウド時代へ拡大
 - ・クラウドの向こう側にある AI をどう取り込み、活かすか？
 - ・組織の課題を解決するには！クラウドを理解し、クラウドに慣れる
- 2 第二部 Windows10、Office の機能、新機能体験
 - ・パソコン：なぜ、Windows10？その進化
 - ・進化した Office を組織に活かす
 - ・スマホ：様々なデバイスを使いこなす
- 3 第三部 クラウドサービスで共有体験
- 4 クラウド時代のセキュリティについて、まとめ、質疑応答

9/14
柏市民活動
交流サロン

『柏自主夜間中学、学ぶことから感動を！』

主催：柏自主夜間中学

9月14日（土）、今年度2度目の市民活動交流サロンがパレット柏オープンスペースで行われました。市民団体“柏自主夜間中学”が主催となつての交流サロンです。

当日の交流サロンには事前に申込みされた方や急遽当日参加の方などが加わり、いろんな角度からの質問や応答があり、サロンは大変盛り上がりを見せました。

32名のいろんな立場の方々とは

1. 夜間中学や自主夜間中学に関心のある方
2. 現在、公立と夜間中学で学んでいる方
3. 学びたい方（学ばせたい方）
4. “柏自主夜間中学”をささえている方
5. 全くのフリー参加の方

■第一部 『学ぶことから感動を！』

「全都道府県に最低でも一校の夜間中学を！」と制作された促進用DVD（森康行監督作品『こんばんは II』）を視聴し、夜間中学の重要性を知ると共に、学生の感動する画面から夜間中学の果たす役割を再認識させるものでした。参加者の中からも、賞賛の声が上がっていました。

■“柏自主夜間中学”の活動紹介

“柏自主夜間中学”は所定の場所を借りて、2回／週の学習時間を設け、生徒さんと共に学ぶスタッフにより運営されています。



“柏自主夜間中学”では

◎日本語や中学までの基礎学力を身につけた
い人を待っています。

◎学びたい自分のペースで学習が出来ます。

◎基本は1対1～2人の学習が中心です。
を掲げ、更に

①授業料はいりません。

②いつでも入学できます。

③終了年数はありません。

④年齢・国籍は問いません。

⑤生活に密着した、現在困っている
問題を解決しましょう。

など、公的な夜間中学と違った側面から
学びたい方をサポートしています。

■質疑応答やアンケートなどから（抜粋）

◎柏市にはいろんな面から市民を支える市民
団体があり恵まれている。

◎在住の外国人の言葉の問題もクリアして
きている。

◎幼児を連れてお母さんから学びたいという
相談があれば、出来るだけ工夫して対応す
るようにしたい。



参加しての感想

“柏自主夜間中学”の活動を少し理解
する事ができました。是非、必要とさ
れる方々に思いが届き、末永い活動が
続くことを願わずにはおれません。

（報告：砂原成治）

活動紹介
その1

カシワワカモノプロジェクトから生まれた
KIKAIが開催する『柏市100人カイギ』連続開催中！

- ニュースレターNo.12（4月発行）でお知らせした、柏に思いのある若者たちが「未来の柏」について自由に話をする交流会「カシワワカモノプロジェクト」から生まれた市民活動団体「KIKAI」が、柏の街を愛する100人を起点に人をつなげるイベント『100人カイギ』を開催しています。

「100人カイギ」は、街で働く100人を起点に人と人をつなげるやかにつなぎ、都市のあり方や価値の再発見を目的とするコミュニティです。
 ルールは簡単。・毎回、身近で面白い活動をしている5名のゲストの話を聞く
 ・ゲストが100名に達したら解散する
 100人100様の生き方に触れることで、いつもの景色が少し違って見えてきます。

- 「柏市100人カイギ」は、毎回柏市に所縁のある5人のスピーカーをお呼びして、どんな活動を柏市の街で行なっているかを話して頂くコミュニティ活動の「場」であり、5月から月一のペースで開催されています。今後の活動を見守りたいと思います。



■これまでの開催状況

回・月日	登壇者（敬称略）
第1回 5月26日 36人参加	Office Printemps 代表 上野妃呂美／フリーアナウンサー 岡田亜紀／かしわインフォメーションセンター センター長 藤田とし子／柏五小オヤジの会 代表 長谷川崇／カラダの学校 副代表 藤原 慎也
第2回 6月23日 32人参加	(株)アクティブコーチングシステム 代表取締役 沖本能道／(株)アールワン・プロフェッショナル代表取締役 渡辺裕二／刺繍 縫-nui- DJ 吉岡亮兵／柏ブルワリー本店 代表 梅崎勝／柏こどもまちづくり会議代表 吉村佳津司
第3回 7月28日 36人参加	俳優・即興演技講師 小田篤史／柏カレー図鑑 波木香里／本まっち柏 所英明／株式会社イノベーター・ジャパン 代表 渡辺順也／公益財団法人吉田記念テニス研修センター 吉部紳介
第4回 8月25日 29人参加	楽書家 今泉岐葉／ユルベルト 寺嶋浩人／(株)Kermode English Education 代表 二渡かず／千葉県ラグビーフットボール協会 吉田意人／(株)マザープラネット 藪本敦弘
第5回 9月22日 29人参加	ハイインフィニティ 54 黒野龍太／柏市役所企画部 北村崇史／Ballon 代表 鈴木亮平／たかの歯科医院 高野正博／(株)ミリオンバリュー代表 大林享輔

（報告：及川愛二）

市民公益活動団体「できる街プロジェクト」による ご当地アニメを使った柏の魅力発信！

- できる街プロジェクト（2015年設立）は、柏市を中心に各々のやりたいことを実現することで、各々の「第3の場所」を作り、それが最終的に“柏のまちを盛り上げ、地域活性につなげる”を目指し、活動しています。主な取り組みは、柏市の調査と美化運動、柏のご当地アニメ・演劇の企画など、バラエティに富んだ幅広いものです。
- そのなかで、ご当地ゆるアニメ「超普通都市カシワ伝説」は、実在する柏の街を舞台に柏の中学校に通う女の子と不思議な生き物たちが、柏の街やイベントに関わるという柏の魅力をゆるく発信するもので、2015年10月にクラウドファンディングで集めた資金で制作を開始し、柏市街地のデジタルサイネージとYouTubeでインターネット動画配信をしています。

《トピックス1》ご当地ゆるアニメ「超普通都市カシワ伝説」が地上波テレビアニメ版としてローカルテレビ局での放送

- ご当地ゆるアニメ「超普通都市カシワ伝説」が、今回、地上波テレビアニメ版としてローカルテレビ局での放送が決定しました（2020年夏を予定）。現在は、今年7月から制作費の寄附を募り、8月に「第1回柏アニメの日」と題したイベントで新キャラクター声優を、10月には「第2回柏アニメの日」で主題歌歌手を、すべて柏駅周辺にて公開オーディションで開催し、着々と準備を進めています。（右写真：声優オーディションの様子）



《トピックス2》柏市をPRする「全国ふるさと甲子園」で大健闘！

- 「できる街プロジェクト」は、8月24日（土）、柏市チームの中心メンバーとして、秋葉原で開催された「全国ふるさと甲子園」に出場し、ふるさとと製品の販売やご当地アイドルとのコラボを通して、柏市の魅力をPRしました。審査の結果、全国55地域が参加した中、柏市は「ふるさとPR賞」で第2位、「行きたい街」で第9位入賞と大健闘しました！



- できる街プロジェクト代表の楠本慶彦さんは、「(いろんな人たちが)何か始めたいと思った時、自分たちの活動がある種のモデルケースになれば嬉しいです」と思いを語っていただきました。できる街プロジェクトの活動はまだ始まったばかり。今後の活躍から目が離せません。（報告：鬼山恵子、及川愛二）



協働に関する意見交換会を実施しました！

- 柏市協働推進課では、現在、「協働」に関する「指針」、「制度」の見直しと「冊子」の作成を行っており、これに関して、6月～7月に市民活動団体の方と意見交換会を行いました。
- 意見交換会の実施経過と、そこで出された主な意見は以下の通りです。今後、これを参考に「協働」に関する指針等の検討を行ってまいります。



■意見交換会の実施経過

	第1回	第2回	第3回	第4回
日時	6月26日(水) 14:00~16:00	7月5日(金) 16:00~18:00	7月29日(月) 15:30~17:30	7月30日(火) 9:30~11:30
場所	パレット柏 ミーティングルームF	パレット柏 多目的スペースA	パレット柏 ミーティングルームF	パレット柏 多目的スペースA
参加団体	NPO法人ときわ会まちづくりネットワーク NPO法人パートナーとうかつ 柏自分史の会 柏サイクル協会 柏の葉ウォーキングクラブ NPO法人こんぷくろ池自然の森 柏観光プロダクション 越中おわら愛好会東葛支部 柏の葉ポールウォーキングクラブ (計9団体10名)	S L F ガーデンサポート 我孫子市野鳥を守る会柏支部 柏土壌医の会 Kashiwa Prog-Science(カワヅカサイエンス) NPO法人こんぷくろ池自然の森 (計5団体5名)	HCAクラブ 柏市消費生活かたくりの会連絡協議会 認定NPO法人東葛市民後見人の会 柏支部 (計3団体6名)	NPO法人柏市国際交流協会 かしわ子育てまちづくりネットワークこっこつ CAPなのはな (計3団体4名)



■主な意見(抜粋)

※詳細は柏市のHP参照

分類	内容
A. 市職員の協働意識	● 市職員の協働への理解が足りないと感じる。 ● 市全体としてトップダウンで市民団体との協働を進めていくべきだと思う。
B. 協働の連携体制	● 協働事業に関係する複数の市担当課同士のネットワーク構築も必要。 ● 市が開くネットワーク会議などにも市民(市民活動団体)を加えて欲しい。
C. 情報の発信と共有	● 市民団体としても行政に対して、自分達ができることをしっかりと出していきべきだし、行政側も課題やニーズをしっかりと出すべきだと思う。 ● 市と市民団体との間で、ある程度テーマについて、課題や現状認識の共有を図ることを目的とした意見交換や情報共有の場の設定も考えられる。
D. 協働事業の評価	● 市との協働の成果として、自分達の活動がどの程度地域に役立ったのか、フィードバックが欲しい。
E. 協働事業の継続	● 協働事業は、事業終了後のアフターフォローも含めて3年から5年のスパンで考えるべきだと思う。
F. 協働の多様性	● 市との「協働事業」となると責任や継続性の点から重たく腰が引けるが、もっと軽い単発の「協働」でやることはできないか
G. 市民活動サポートコーナーの活用	● サポートコーナーは、市民団体と市の各課とのコーディネート役としての役割を強化してはどうか。また、団体の育成支援や同じ分野同士の団体に対してマッチング支援などをしてはどうか。
H. その他	● これからは若い世代同士の横のつながりを作り、若い世代を育てる必要がある。

(報告：及川愛二)

お知らせ

柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）の ホームページをリニューアルしました！

- 柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）は、「柏市に住む人たちを、もっと幸せにしたい！」そんな思いを抱いて活動している市民公益活動団体の活動がより活性化されるよう、市民のかたなどから集めた寄附金を補助金（柏市民公益活動支援補助金）として受け取ることでできる制度です。



- ◇ 現在 25 団体が登録中（分野は福祉や環境，教育など様々）
- ◇ 補助金は、飲食以外のほぼすべての活動費に使うことができます。
- ◇ 制度を使って寄附したかたは、確定申告をすれば、税金の控除を受けることができます。

- 10月から、柏・愛らぶ基金の市ホームページをリニューアルしました。市民のかたや団体の皆さまが目的の情報を得やすく、より見やすいページとなっておりますので、ぜひ一度ご覧ください。



この画像が目印です！

制度について知りたいかたはこちら。

寄附をしたいかたはこちら。

登録をしたい団体はこちら。

編集後記

台風 15 号は千葉県に大きな爪痕を残しましたが、市民活動団体の皆様は予定どおり活動することができたでしょうか？ ボランティアに行かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか？ 被災地の一日も早い復興を願っています。

さて、市民活動サポートコーナーでは、今年度の後半も、皆様の活動に役立つ市民活動講座等を企画しています。また、小誌 7 ページでお伝えしたように、市協働推進課が中心となって、今後の“協働”のあり方について検討を進めています。

より良い市民活動の推進に向けて、皆様のご意見やアイデアを、いつでもお気軽にお寄せください。（編集：及川愛二）

